

目的 大阪が高いポテンシャルを有するリチウムイオン電池の有力用途である電気自動車(EV)を核に、インフラ・社会システム整備や先進的モデル事業を行うことにより、EVなどの普及を促進し、低炭素社会の構築を図るとともに、将来的に新エネルギー関連産業の集積を促すことを目的とする。

取組の方向性

まちづくり

目標:H23年度まで 電気自動車 1,000 台

- EVの初期需要創出に不可欠な充電インフラの整備や、「EVリーディング都市・大阪」をアピールできるタクシー・カーシェア事業やイベントを展開!
- 急速充電設備を中心とした充電インフラの整備
- 充電インフラのネットワーク化
- OEVの魅力を実感できるタクシー・カーシェア事業
- EVに関する先進的モデル事業

ものづくり

目標:大阪産EVの開発をめざす!

- 大阪の強みである技(ものづくり企業)と知(大学・研究機関)の集積を活かし、EVや関連技術を開発!
- EVメーカー等とのものづくり企業とのマッチング
- 新たな技術開発を産学官連携で推進
- 大阪産EV開発プロジェクト



キャリア

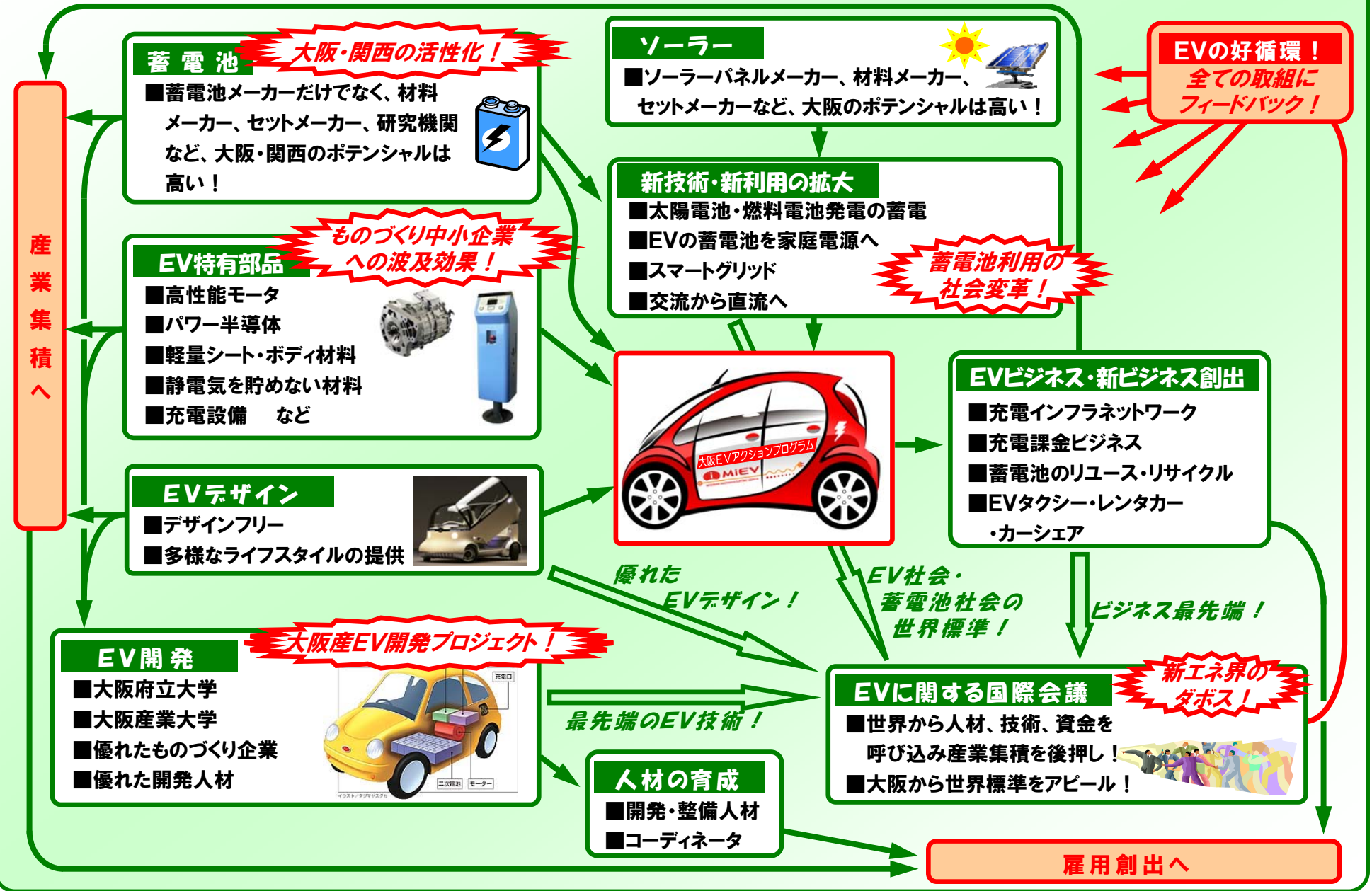
目標:EV人材を多数輩出!

- 技と知の集積を活かした産学官連携での研究者等の育成や、EV整備に対応できる人材の養成!
- 研究開発を通じた開発人材やコーディネータの育成
- 府立職業専門学校での整備人材の養成



大阪EVアクションプログラムの狙い

EVを核とした産業振興を技術プッシュ(研究開発や社会実証などによる供給側からの普及)と市場プル(インフラ整備や制度創設などによる需要側からの普及)の両面から展開



体制

コアメンバーの確固たるパートナーシップによる推進 ⇒ 大阪EVアクション協議会の設立(平成21年6月)

- 産業界 大阪ガス株、大阪商工会議所、(社)大阪タクシー協会、(社)大阪府駐車場経営者協会、(社)大阪府レンタカー協会、オリックス自動車株、(社)関西経済連合会、関西電力株、三洋電機株、シャープ株、大和ハウス工業株、田辺三菱製薬株、(社)電子情報技術産業協会、日産自動車株、西日本高速道路株、(株)日本駐車場サービス、日本ユニシス株、パーク24株、パナソニック株、パナソニック電工株、阪神高速道路株、(株)ローソン、郵便事業株、三菱自動車工業株、ヤマハ発動機株、ユアサM&B株
- 大学 大阪大学、大阪産業大学、大阪府立大学、大阪市立大学
- 自治体等 大阪市、堺市、市長会、町村長会、近畿経済産業局、近畿運輸局、(独)産業技術総合研究所関西センター、(財)大阪科学技術センター

ECOプロジェクト！ こんなに進んでる！「大阪EVアクションプログラム」！

平成22年7月

平成21年度は「まちづくり」を中心に展開！ 平成22年度からは「ものづくり」「ひとづくり」の取組も本格的に開始！

まちづくり 府全域

■EV導入を加速化する実証事業を実施！

平成21年7月、「低炭素社会に向けた技術発掘・社会システム実証モデル事業」（経済産業省）に大阪府が参画する「電気自動車（EV）導入・低炭素化加速実証事業」が採択！ 急速充電設備の最適配置や、充電設備の予約照会システムの開発・実証等を実施（下図は実証事業のイメージ）

特に、異なるメーカー・仕様の急速充電器16基と200V充電器2基を、ITによってネットワーク化し、携帯電話から充電予約可能な「おおさか充電インフラネットワーク」を世界で初めて構築！

(a)急速充電装置の最適配置実験 及びシミュレータの開発

急速充電装置を段階的に設置していく際の、EVの実走行データを基に、次に設置すべき最適設置場所を導く。あわせて、設置後の実走行データを解析し、最適設置場所シミュレータを開発

(d)EVエコドライブシステムの開発・実証

今後発売が予想される様々なEVに適用可能なエコドライブシステムを開発し、その運用を実証



参加機関：大阪府立大学、オリックス自動車㈱、日本ユニシス㈱、三菱オートリース㈱、㈱スルツとKANSAI、田辺三菱製薬㈱、三菱自動車工業㈱、㈱ユビテック、㈱ローソン、(財)大阪科学技術センター、大阪府

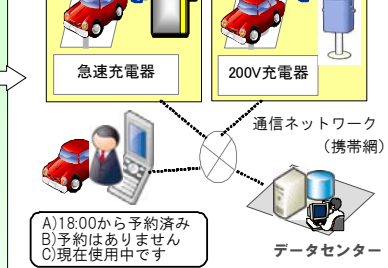
世界初！ H22年3月スタート！

(b)おおさか充電インフラネットワークの構築・実証

製造メーカーや機能の異なる複数の充電装置をITによってネットワーク化し、プラットフォームを共通化

(c)充電装置予約照会システム

充電装置の予約照会システムを開発、その運用を実証



A)18:00から予約済み
B)予約はありません
C)現在使用中です

まちづくり 「おおさか充電インフラネットワーク」の近畿ブロックでの広域化

■急速充電設備の連携設置へ！ 平成22年6月の近畿ブロック知事会議において、本府知事橋下より充電インフラネットワークの共通化について提案。各府県知事の賛同を得て、今後は連携した充電インフラ整備を図っていきます！

まちづくり EVの積極導入

111万人体感！

■EV魅力実感事業(EVタクシー50台(32事業者)への支援)

EVタクシービジネスの定着を目指すとともに、3年間で最大111万人がEVの魅力を実感、購買層拡大につなげます。支援対象者も決定し、年度内には共通デザインのEVタクシー50台が大阪の中心部を駆け巡ります！

■EVカーシェアリング

○咲洲地区及び都心部で、モデル事業を実施（大阪市、H22実施予定）
○環境省競争的資金により、都市マルチポート型EVカーシェアリングの実証実験（ワンウェイ利用可能）（オリックス自動車等、H22～実施予定）

■公用車への積極導入！

公害パト車や防犯パト車にEV7台を導入（大阪市、H22実施予定）

ものづくり

■新たな技術開発を推進！

府内ものづくり中小企業によるデザイン重視のミニカー型EV開発を支援

■大阪府立大学に「EV開発研究センター」創設！ H22年4月設置

関連する優れた研究人材を結集！ 本センターを中核拠点として、中小企業等によるコンソーシアムで大阪産EVの開発を目指す

ひとづくり

■普及人材の育成

雇用対策の一環として、太陽光発電システムやEV等の新エネルギー関連製品のメリット等に関する対面調査を府内全市町村で実施。

■整備人材の育成

大阪府立南大阪高等職業技術専門校の自動車整備科において、平成22年度からEVの整備に関する訓練を開始

EVリーディング都市 大阪へ！

まちづくり 大阪市内等

■充電インフラの配置等に関する実証事業を実施へ！

平成22年6月、「環境対応車を活用したまちづくりに関する実証実験地域」（国土交通省）に大阪府が選定！

様々な関係者と協働で充電インフラの配置について検証していきます。

まちづくり 府全域

当面の間、全て無料開放！

■急速充電設備20基の設置へ！

- 急速充電設備を設置工事費や太陽光パネルとあわせて補助（10基）
- 「EV導入・低炭素化加速実証事業」（上記実証事業）で設置（5基）
- 府有施設等に太陽光パネルとあわせて設置（5基）（H22実施予定）
- 「緑の分権推進事業」（総務省）により、高速道路SAにソーラーと蓄電池を活用した急速充電設備を整備、運用方法等を検証（H22実施予定）
- これらは全て「おおさか充電インフラネットワーク」に接続！

■200V充電器の設置も推進！

- 「おおさか充電インフラネットワーク」に接続する200V充電器と、その設置工事費を1/3補助（40基）（H22実施予定）
- 大阪市内10箇所に200V充電器設置（大阪市、H22実施予定）

開催決定！ 大阪新エネルギーフォーラム2011 ～EVが切り拓く新たな社会システムの追求～

日時：平成23年3月24（木）～27（日）（うち3日間） 場所：大阪国際会議場他

体制

■大阪EVアクション協議会を設立

（平成21年6月19日 キックオフ総会）

大阪EVアクションプログラムを進めるため、オール大阪の産学官とEVに関するエキスパートが集結し、「大阪EVアクション協議会」を設立！



平松邦夫 大阪市長

「EVに関しては大阪に
いかなあかん」という街
にしたい！



片山幹雄 シャープ㈱社長

太陽電池発電が普及すると
直流電流の家電が増え、EV
との相性もよくなる！



益子修 三菱自動車工業㈱社長

EVは新しいビジネスモデル
ができる可能性がある！



大阪府知事 橋下徹

EVの普及に伴って、関連する
事業をどんどん大阪で拡げて
いきたい！